

陰徳陽報（人知れず善行を積み、必ずよい報いを得る）37

1 44日間（3年）と50日間（1、2年）の授業日数

○ゴールイメージをより良くもち、互いに人間力を高め合う。

○行事や各種活動のねらいを理解し、資質や能力の向上に繋がる手を的確に打つ。

○心身の健康が最優先

2 「君を成功に導く49の言葉 ～5年後リーダーになる人 5年後も部下のままの人～」（岩田松雄氏 著） ※裏面参照

◎「才」と「徳」をバランスよく高める

・5年後も部下の人 地位や財産が人の評価基準だと思っている。

頭のよいやつが偉いと考えている。

徳を高めて立派な人間になろうとする意識がない。

・5年後のリーダー 才と徳をバランスよく高める努力をする。

とくに徳については、意識的に人間性を高める本を読むようにしている。

自己修養を心がけている。

☞ 「人の上に立つ者は『才』と『徳』との二つをあわせ持っていることが一番望ましい。しかし、才と徳二つの兼備は難しい場合、『才』のほうを取るのか『徳』のほうを取るのかと、二者択一を迫られたら、迷うことなく『徳』のある人物を取る。」（李こう：北宋の政治家）

3 「教師の生き方」（石田成太郎氏 著 : 昭和51年2月） ※不易

◎どんな先生がいい先生と思うか？ → 生徒の気持ちがわかる・ユーモアがある・公平である・あまりおこらない・教え方がうまい・やさしい

4 2022年1月8日（土）読売新聞特別面「未来の医療を描く」より

◎東京慈恵会医科大「高校生向けオンラインセミナー開催 : 横尾隆教授」

・「未来の医療現場で医師は必要か」と問いかけ、「これからの時代の医師には、ぬくもりを持った優しさや、マニュアルにない患者に寄り添った配慮ができる『人の心』が必要なる」 ※技術的に難しい手術ですら、AIやロボットにいずれ置き換わると予測

・大学の建学の精神 → 患者を一人の人間として診る:「病気を診ずして病人を診よ」

◆「一人一人を見つめ、育てるために、知恵を結集する3学期にしましょう」